



学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第17号 R7.10.31

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

☆ゲストティーチャーをお招きして深める学び

【6年生】平和な世界を築くために



◎10月24日(金)の5・6校時、6年生は、昨年度に引き続き NPO 法人「ロシナンテス」の川原佳代様をお招きして、アフリカの現在の様子についてお話を伺い、平和を実現するため私達にできることを話し合いました。



◇ロシナンテスとは

病院がない。医者がいない。発展途上国には、厳しい現実がまだまだ存在します。ロシナンテスは、そのような地域に暮らす人たちに医療を届ける活動を続けています。医療施設のない村々を回って医療を提供し、国や地域と協力しながら診療所をつくり、給水所の整備や学校建設、栄養改善なども含めた包括的な保健事業を整備することで、現地の人たちだけで医療を継続できる仕組みづくりをしています。これまで主にアフリカのスーダン・ザンビアで活動し、人々が「医療」を自分たちのものにするための支援をしています。（認定 NPO 法人口シナンテス・ホームページより）

◎川原さんからは、昨年お話ししたスーダンの現在の様子について報告がありました。

◎2023 年以降の内戦で国内外への避難が拡大、世界

最大級の人道危機に陥っていたスーダンで、ロシナンテスは復旧・支援のために、避難所の水場やトイレ改修など住民主体で維持管理する体制を確立しました。また、学校設備の改善と安全に運用するための研修も実施しています。

今年の9月には、日本国内に住むスーダンの人々によるスーダン・ナショナルデイが催され、盛大なパレードが行われました。みんな笑顔で大いに盛り上がったそうですが、決して祖国のことを忘れているわけではなく、平和が続くことを心から願いながら参加していたとのことです。小学生新聞に掲載された「1日の2人分の食事」の量のあまりの少なさに、6年生は衝撃を受けていました。

川原先生から「日本で戦争が80年間なかった理由を考えよう」「平和を維持できているのはなぜだろう?」という問いかけに、子どもたちは真剣に考え、お互いの考えを交流し合い、積極的に答えていました。

子どもたち
から出された意見

「戦争をしないように工夫をしているから」「戦争で被害を受けて、反省したから」「戦争を経験した人たちが、戦争の怖さを伝えてくれているから」「戦争に負けて、その怖さを知っているから」「日本人一人一人が戦争について考えているから」「争いや戦争をもうしたくないから」「多くの人が亡くなり、二度と繰り返さないと決めたから」

◎私たちは、戦争を経験していません。だから、戦争の怖さや悲惨さを本当の意味で知ることはできません。しかし、現在も遠く離れた同じ空の下、戦争や内戦は続いている、多くの人が苦しんでいます。今回の学習を通して、こうした國の人々も懸命に生きていこうと努力していることを学びました。私たちも「戦争はしてはいけない」と伝え続けることはできます。そんな小さな努力が平和を維持するために必要なのではないでしょうか。

☆花いっぱい赤坂小 『パンジー一人鉢運動(種蒔き)』



○10月22日(水)、ふるさと会の皆さんにご協力をいただき、例年と同様に全校児童で、パンジーの種蒔きをしました。種蒔き用ポットに、パンジーの種を5粒程度蒔き、土の温度を保つためのバーミキュライトをかけます。出席番号シールを貼って、クラス別にトレイに集め、じょうろで水をかけたら、温室内に運んで設置し、植え付け作業は完了です。今後は、水やり当番を決めて、毎日じょうろで散水をして発芽を待ちます。間引きをしながら大切に育てて、寒い冬を越す頃に、色とりどりのパンジーの花が咲くのを楽しみに待ちたいと思います。ポットやパンジーの種などご準備いただき、種蒔きのレクチャーをしていただいたふるさと会の皆さん、ありがとうございました。

火事からまちを守る



【3年生】『消防士さんといっしょ』

◎10月21日(火)、3年生は社会科の学習で、八幡西消防署と折尾分署から消防士さんをお招きしての授業を行いました。火事

や事故などから市民の安全な暮らしを守るために、どんな仕事をしているのか、万一に備えてどんな訓練をしているのかなど、教えていただきました。体験する場面では、火事が発生した時の119番通報を、代表の児童が手順に従ってやってみました。体育館のステージを使った煙が充満した場所の疑似体験では、ハンカチで口を覆い、身をかがめて歩く練習をしました。消火器の使い方練習では、消火剤の代わりに水が入った消火器を使って、ピンを抜いてカラーコーンに向けて水を噴射させました。いざという時に落ち着いて行動できるよう、真剣な態度で取り組んでいました。また、消火用のホースや酸素ボンベ、煙や炎などから体を守る防火衣など、消防士さんが使用している道具に触れさせてもらい、重さなど実感することができました。

まちの環境を守る



【4年生】『ごみはどこへ』

◎10月24日(金)、4年生は社会科の学習で、環境局の方をお招きしての授業を行いました。北九州市では、家庭ごみを4種類の袋

に分けて入れて、分別を進めています。これは、缶・びん、ペットボトル、プラスティックをリサイクルして再利用することで、環境にやさしい町にするための取組です。授業の中では、視覚障がいの方でも触ってわかるごみ袋の工夫について学んだり、実際にパッカー車を見て、操作の仕方や気を付けることを知り、実際にごみを投入する体験をさせてもらったり、体験を通して楽しくが学習することができました。

31日(金)、社会見学で穴生浄水場、エコタウンセンターを訪問します。水道の水がどのように処理されて、家庭に届いているのか、リサイクルの実際の様子等見聞きして、学びを深めることができます。

地域の方との
交流を深める

大盛況！赤坂ふれあいまつり

◎10月18日(土)・19日(日)、赤坂市民センターで、毎年恒例の「赤坂ふれあいまつり」が開催されました。

館内には、キッズコーナーや余剰品バザーなどのコーナーが設けられていました。センターの前の公園では、PTA役員さんが射的コーナーを設けて、たくさんの賞品を準備して、子どもたちが楽しめるような工夫をしていただきました。2階のキッズコーナーに集まった子どもたちは、トリコロキューブ、シャッフルゴルフ、ダーツ、ブルズトスゲームの4つのゲームに挑戦です。全種目をクリアしたら、私(校長)とジャンケンです。勝ったら参加賞のうまい棒1本に加えて、箱に入った賞品を1つ引く権利を得られます。1回勝負、とても盛り上りました。

1階の作品展示室には、地域の方や保育園、中学校などから多くの力作が展示されました。本校からも、夏休みの自由研究で入賞した社会科展、理科展の作品6点を出品しました。今年は、大規模改修工事のため、校内での展示ができなかったため、保護者の方や子どもたちも見に来ていただき、その出来栄えに感心されていました。2日間にわたってお世話していただいた地域のみなさん、ありがとうございました。